

平成22年度花き関係者ネットワーク構築モデル地区の実施団体の企画提案書一覧

都道府県		山形県	千葉県	静岡県
実施主体等		山形県花き生産連絡協議会 (事務局:山形県農林水産部生産技術課)	ちば花と緑の会 (事務局:千葉県海匠農林振興センター振興普及部改良普及課)	花・緑タウンフェア実行委員会(H22年4月設立) (事務局:静岡県経済産業部農林業局みかん園芸課)
目的のポイント		生産サイドと販売等サイドが連携して花きの消費拡大及び地産地消を推進する方策を検討するとともに、花きの生産・販売の相互理解を深めること。	「ちば花と緑の会」では、展示商談会や農場見学会を、千葉県内の生産者自らが企画・運営を7年間行い、商品のPR力・新商品の開発力・販売力を高め、流通・販売関係者との消費拡大に向けたパートナーシップを築き、経営向上を図ってきた。 今回は、今年4月に開催した「大阪フラワー・ガーデンショー2010～花と緑の生産者紹介in関西2010春～」に続き、10月の開催を千葉県内の会場で、全国の生産者と連携協力し、流通・販売関係者と生産者間の情報交換を図り、お互いの経営向上を目指すことを目的に開催します。	「花・緑タウンフェア」を開催することにより、商店街などにおける実践的な花と緑の装飾提案を行うとともに、街中で花と緑にふれあう機会を創出することで、花緑の県民生活への定着を推進し、花と緑の産業振興と消費拡大を図る。
タイプ区分		都道府県単位のネットワーク構築タイプ	都道府県を越えたネットワーク構築タイプ	都道府県単位のネットワーク構築タイプ
構成メンバー	生産	山形県花き生産連絡協議会	<ちば花と緑の会の会員等> (千葉県内の切花、鉢花、観葉、洋ラン、植木の生産者37名) 茨城県、群馬県、愛知県、岐阜県、埼玉県等の花き生産者 花き販売関係者(市場、仲卸、花店、流通関係者、他) 顧問:千葉大学 安藤敏夫 教授	<花・緑タウンフェア実行委員会の構成団体> 静岡県花卉園芸組合連合会、静岡県経済農業協同組合連合会、静岡県花き市場連合会、 特定非営利活動法人花咲くしずおかフラワーネットワーク会議 ※、社団法人静岡県造園緑化協会、財団法人静岡県グリーンバンク、静岡商工会議所、静岡市中央商店街連合会、静岡デザイン専門学校、静岡市、浜松市、沼津市、静岡県 ※ 特定非営利活動法人花咲くしずおかフラワーネットワーク会議構成団体：日本ハンギングバスケット協会静岡県支部、社団法人日本フラワーデザイナー協会静岡県支部、静岡県フラワー装飾技能士会、静岡県フラワー装飾協議会、日本生花通信配達協会静岡地区会、フジテレビフラワーネット静岡県支部、特定非営利活動法人静岡県園芸店組合連合会、静岡県生花商組合連合会 以上8団体
	市場流通			
	販売・デザイン	山形県生花商組合連合会		
	その他			
実施概要		1. 産地表示カードの作成 県産花きの生産出荷情報を記載した産地表示カードを作成し、出荷。 消費者、生産者、生花商に対し、生産出荷情報を記載した産地表示カードを利用した感想、意見等アンケートを実施。 2. 県産花き産地マップの作成 県産花きの産地マップのポスターを作成し、小学校へ配布 3. 県産花き等のPRイベントの合同開催 「やまがたフラワーフェスティバル2010」の開催等 4. 県産花きを用いた花育活動 5. 県内花き関係者向けセミナーの開催	1. 10月上旬:花と緑の生産者紹介2010inちば出展者説明会&講演会 会場:千葉県成田市 成田ビューホテル 内容:花き販売関係者による講演会(予定2名) 2. 花と緑の生産者紹介2010inちば 会場:千葉県成田市 成田ビューホテル 展示商談会 10月20日(水)11:00～17:00 内容:切花、鉢花、観葉、洋らん、植木の生産者が秋から翌春の多様な商品紹介して、来場ゲストと情報交換や企画提案等を行います。 招待者:市場、花店、仲卸、小売店、流通関係等 3. 農場見学会 10月21日(木)8:30～17:00 内容:千葉県内の切花コース、鉢物コース(マイクロバス使用)	① 平成22年度は静岡市、平成23年度は浜松市、平成24年度は沼津市において開催予定。(構成メンバーのうち商業関係団体は、開催場所によって入替予定) ② 平成22年度は平成23年3月4日(金)～3月6日(日)の3日間、静岡市中央商店街周辺において開催予定。
連携のテーマ・課題		生産出荷情報を記載した産地表示による県産花きPRと地産地消の促進	都道府県を越えたネットワークを構築して多様な花き商品情報提供活動を行うタイプ 今年で8回目。千葉の花と緑の生産者と新たに全国の生産者と連携協力し、顔が見える生産者紹介(展示商談会)を千葉で開催します。流通販売関係者に生産者自ら情報発信を行い、多様な消費者ニーズや販売流通現場の声を聞いて、提案から企画、商談につなげ、パートナーシップをさらに築き、お互いに経営向上を目指します。	「花・緑タウンフェアin静岡2011」会場及び実行委員会構成メンバーの販売店店頭において、県産オリジナル品種のPRを実施することにより、静岡県産花卉の付加価値を上げ、県産花卉全体の需要喚起につなげる。

都道府県	山形県	千葉県	静岡県
実施主体等	山形県花き生産連絡協議会 (事務局:山形県農林水産部生産技術課)	ちば花と緑の会 (事務局:千葉県海匠農林振興センター振興普及部改良普及課)	花・緑タウンフェア実行委員会(H22年4月設立) (事務局:静岡県経済産業部農林業局みかん園芸課)
連携による活動計画	<p>1. 産地表示カードの作成</p> <p>① 県産花きの生産出荷情報を記載した産地表示カードを作成し、当該カードを生産者が出荷箱に入れ出荷。</p> <p>② 消費者、生産者、生花商に対し、生産出荷情報を記載した産地表示カードを利用した感想、意見等アンケートを実施。</p> <p>2. 県産花き産地マップの作成</p> <p>県産花きの産地マップのポスターを作成し、小学校(5年生(又は4年生)※学級)へ配布し、県内の花き生産に興味をもってもらう。</p> <p>3. 県産花き等のPRイベントの合同開催</p> <p>① 県産花きのPRイベント「やまがたフラワーフェスティバル2010」を開催し、県内消費者に高品質な県産花きや県内生花店の技術力をPR。</p> <p>② 県産花即売会でのオリジナルPR包装(フラワーバッグ)を用いたフラワーウォーキングの実施。</p> <p>4. 県産花きを用いた花育活動</p> <p>子どもを対象に、県産花きを用いた花壇づくりを実施し、県産花きに興味をもってもらうとともに、将来の購買層の拡大につなげる。</p> <p>5. 県内花き関係者向けセミナーの開催</p> <p>花き産業に造詣の深い専門家を講師として招へいし、消費拡大及び地産地消の推進等について学習すると共に、出席者が交流を深めることにより相互理解を深める</p>	<p>千葉の花と緑の生産者と新たに全国の生産者と連携協力し、顔が見える生産者紹介(展示商談会)を開催する。</p> <p>そのため、展示商談会のねらいと今後のあり方も検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の生産者との広域的な連携体制づくり ・ 出展生産者自らの負担金(出展ブース料)による運営方法 ・ 招待ゲスト(市場、花店、仲卸、小売店、流通関係)の共有をによる情報交流のねらい ・ 来場ゲストとのパートナーシップを築くために、提案から企画につなげる展示商談会のレベルアップ ・ 全国の生産者が連携した花き消費拡大への展示商談会の企画案づくりや開催に向けた検討 	<p>① オリジナル品種紹介パンフレット、店頭表示用オリジナル品種紹介ポップ、ポスターの製作</p> <p>② 実行委員会構成メンバーの販売店における、県産オリジナル品種のPR</p> <p>③ イベントを活用した県産オリジナル品種のPR(県産オリジナル品種使用の花緑装飾の展示)</p> <p>④ 販売店及びイベント来場者に対するアンケート調査の実施</p>
スケジュール	(5月27日:今年度の事業計画)	<p>実行委員会スケジュール(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月1日 実行委員会の設立後、毎月、実行委員会開催 ・4月8日 大阪フラワー・ガーデンショー2010へ出展 ・7月3～5日 フラワートリム2010in東京ビッパトへ出展 ・7月9日 花き販売関係者による講演会 ・7月10日 ゲスト参集対策(市場訪問及び花店、4市場他) ・7月28日 ちば花と緑の会2010夏:農場見学会(予定) <p><今後の予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月上旬～ ゲスト参集対策 市場訪問による花店、仲卸等との情報交換 ・8月中旬 第5回実行委員会(全国の出展者代表含む) ゲスト通知の発送、ゲスト対策(関西、東北、関東及び都内市場等への産地PRと開催案内訪問、産地案内) ・9月下旬 第6回実行委員会 出展生産者とりまとめ、開催内容確認 ・10月上旬 花と緑の生産者紹介2010出展者説明会&講演会、 ・第7回実行委員会 展示商談会を前に生産者を対象に、花き販売関係者による講演会(講師予定は、仲卸、市場関係者2名) ・10月中旬 第8回実行委員会 来場ゲストとりまとめ、役割分担確認 ・10月18日 第9回実行委員会 最終打ち合わせ、配付資料作成等 ・10月20日 花と緑の生産者紹介2010inちば 展示商談会 ・10月21日 花と緑の生産者紹介2010inちば 農場見学会 ・12月上旬 第10回実行委員会 アンケート集計及び結果報告会準備 ・1月 結果報告会 活動報告、出展者及びアンケート結果等 	<p>～9月 ・販売店向けオリジナル品種紹介パンフレット、店頭表示用ポップ、ポスターを製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会構成団体から協力販売店を選定(東部、中部、西部から各10店舗、計30店舗程度) <p>10月 ・協力販売店に対し、パンフレット、ポップ、ポスターを配布</p> <p>2月 ・協力販売店に対し、アンケート調査を実施</p> <p>3月 ・「花・緑タウンフェアin静岡2011」において県産オリジナル品種を使用した花緑装飾を展示、来場者へアンケート調査実施(協力者に、県産オリジナル品種の写真入りポストカードを配布)</p>
実施体制	山形県花き生産連絡協議会、山形県生花商組合連合会の代表者を中心メンバーとした事務局を設置し連携の円滑化を図る。また、必要に応じて県が支援する	花と緑の生産者紹介2010inちば実行委員会	静岡県経済産業部みかん園芸課内の「花・緑タウンフェア実行委員会」事務局において、関係団体を調整して実施する。

都道府県		山形県	千葉県	静岡県
実施主体等		山形県花き生産連絡協議会 (事務局:山形県農林水産部生産技術課)	ちば花と緑の会 (事務局:千葉県海匝農林振興センター振興普及部改良普及課)	花・緑タウンフェア実行委員会(H22年4月設立) (事務局:静岡県経済産業部農林業局みかん園芸課)
類似の活動実績		①平成21年度花き生販連携モデル促進会議の実施団体として県産花きの産地表示を実証試験 ②平成8年から「やまがたフラワーフェスティバル」の開催で品評会・展示会 ③平成22年5月・山形県花き生産・販売に関する情報交換会の開催	1. ちば花と緑の生産者紹介2009(過去7回開催) 上記の2008開催は、平成20年度花き生販連携促進交流大会の事業を活用し開催をしました。 2009年の来場ゲストは、238名 <御来場者の内訳 市場:35社57名 卸、小売:58社93名 流通他:22社36名 小計115社:186名 他見学者52名> 資料添付有り 2. ちば花と緑の会の農場見学会(過去5回開催) 3. 関西花と緑の生産者紹介2010 平成22年4月8日(木) (大阪フラワーガーデンショー2010と共同開催:4月9～11日出展)花の消費拡大を願い、全国の花と緑の生産者が呼びかけ合い、一歩踏み出します。この経済低迷を脱出し、活気につなげるために、今回の展示参加の機会を活かして、「花と緑の生産者紹介in関西2010春」と題した展示会を開催した。大阪及び関西市場を始め、花き業界関係者の皆様と生産者がパートナーシップを築き、お互いの経営向上を目指し、さらなる消費拡大に向けた初の展示会を行いました。	「浜名湖フラワー&ガーデンフェア2009」におけるオリジナル品種の展示(同イベント実行委員会には、県その他の花・緑タウンフェア実行委員会構成メンバーが多数含まれる) (出展者:新品種育成研究会)
経費内訳(千円)	事業費総額	805	1,700	728
	助成要望	729	500	363
	採択助成額	600	400	350
	その他	76	1,200	365
助成対象の主な経費		POP等の広報資材作成経費、会場展示費	連絡会議の開催費(ホテル会場使用)等	広報資材作成費、花材展示費等

都道府県		新潟県	石川県	大阪府
実施主体等		新潟県花と緑の普及推進協議会 (事務局:新潟県農林水産部食品・流通課)	石川県花き園芸協会 はばたんプロジェクト (石川県農林水産部生産流通課)	かんさいフラワーショー実行委員会 (事務局:社団法人フラワーサイエティ)
目的のポイント		新潟県内の花イベントの連携を図り、県内外の消費者、生産者、小売店等を巻き込んで活動を展開し、県内外に『新潟の花』をPRする	花もちが良く冬期でも栽培可能な切り花はばたんは、近年、作付けが増加しており、石川県産はその色づきの良さから市場で高い評価を得ている。一方、消費者には“はばたん”は正月の花としてのイメージが定着しているため、出荷期間が12月中～下旬に限定されてしまい単価の変動が大きい。さらに、生産者はこの時期に出荷調整作業が集中するため、1戸あたりの栽培面積を増やせない状況である。 このため、切り花はばたんの「正月」のイメージを払拭し、10月～翌2月までの長期間にわたり、ブライダルや葬祭、バレンタインなど、様々な用途で利用しやすいイメージづくりと消費拡大を行い、生産の拡大を図る。	花き消費振興を目的とした、近畿地方の生産・流通一団体・府県主催による総合フェア「かんさいフラワーショー」での全国各地の生産組合の商品展示会の開催
タイプ区分		都道府県単位のネットワーク構築タイプ	都道府県単位のネットワーク構築タイプ	都道府県を越えたネットワーク構築タイプ
構成メンバー	生産	<新潟市食と花の世界フォーラム実行委員会の構成団体> 新潟梨花と緑の普及推進協議会(市場、小売団体、生産団体の組織) フラワーウェーブ実行委員会(市場、小売団体、生産団体の組織)	切り花はばたんの生産者	<かんさいフラワーショー実行委員会の構成団体> 近畿花き振興協議会、関西生花市場協同組合、大阪府花き地方卸売市場協会、社団法人フラワーサイエティ、
	市場流通	(財)新潟県都市緑花センター 新潟県立植物園 日本ボケ協会	金沢総合花き(株)、(株)金沢花市場)	滋賀県花き園芸協会、京都府花き生産組合連合会、大阪府花き園芸連合会、兵庫県花卉協会、奈良県花き植木農業協同組合、大阪園芸サービス協同組合、
	販売・デザイン			大阪園芸商組合、大阪グリーンサービス協同組合、滋賀県生花商業協同組合、奈良県生花商業艇洽、
	その他		JA全農いしかわ、石川県(生産流通課)	茨城県ひめま鉢物組合、愛知県蟹江鉢物組合、兵庫県伊川谷鉢物組合、その他。
実施概要		「春一番、にいがた花三昧。」の開催 新潟市近郊で春に開催されていた4つの花イベントを同時開催 時期:3月11日(金)～13日(日) 来場者目標:60,000人	石川県花き園芸協会 はばたんプロジェクトは、8月～2月 定例会(月1回)を開催して、はばたんの新商品開発を検討	平成22年11月19日(企)～21日(日)に大阪市鶴見区花博記念公園内「水の館」において開催される「かんさいフラワーショー」の中心イベントとして開催
連携のテーマ・課題		『春一番、にいがた花三昧。』と題し、別々の日に開催されていた新潟の春の花イベントが連携して同日開催し、新潟の春を演出する。 にいがた花検定や消費者と花き業界関係者との交流を図り、新潟の花をPRする。 昨年までは、各イベントが同じ時期ではあるものの別々の日に開催され、お客様がすべてのイベントに出向くということが難しかった。また、PR活動についても別々に行っていたため、効率が良くなり課題が多かった。	石川県産の切り花はばたんの生産を拡大し、市場シェアで全国1位を目指す。	かんさいフラワーショーにおける全国産地の商品展示会

都道府県	新潟県	石川県	大阪府
実施主体等	新潟県花と緑の普及推進協議会 (事務局:新潟県農林水産部食品・流通課)	石川県花き園芸協会 はばたんプロジェクト (石川県農林水産部生産流通課)	かんさいフラワーショー実行委員会 (事務局:社団法人フラワーソサイエティー)
連携による活動計画	<p>1. 「春一番、にいがた花三昧。」の開催 新潟市近郊で春に開催されていた4つの花イベントを同時開催し、これらの会場を周遊する計画(約15km範囲内)。 従来は、消費者や愛好家が主体であったが、これに生産者、小売店、バイヤー等にも参加してもらい、来場者の増加や県産花きのPR効果等の増大。 将来的には観光業界も巻き込んだ一大イベントとすることを目標とする。</p> <p>① フラワーウェーブ新潟2011 フラワーデザインコンテスト、チューリップ切花コンテスト等 (来場者:約30,000人)</p> <p>② 新品種inにいがた 各種草花の新品種展示、園芸セミナー等(来場者約1,700人)等</p> <p>③ チューリップ展 チューリップ生産・栽培の歴史紹介、品種展示等(来場者約9,000人)</p> <p>④ 日本ボケ展 ボケの展示、即売会等(来場者約15,000人)</p> <p>2. 協賛イベントの開催</p> <p>① 園芸セミナーの開催</p> <p>② にいがた花検定の開催(花きの生産方法や産地、種類等を出題して、認定証を交付)</p> <p>③ 花き業界関係者・消費者交流会(消費者に対し、生産者による花き生産の説明、市場関係者による花き市場の説明や小売店関係者による県産花きの購入情報等を行い、産地消費を推進)</p>	<p>1. 切り花はばたんの需要開拓</p> <p>① ブライダル、葬祭向け利用に関するマーケティング調査及び利用拡大</p> <p>② 異業種(菓子製造業等)と連携したバレンタイン向け商品の需要調査及び利用拡大</p> <p>2. 消費拡大への取組</p> <p>① 県内小売店向けの産地表示用アイキャッチシールの作成</p> <p>② 県外小売店向けのパンフレット(出荷箱用)と花束用シールの作成</p> <p>③ 消費者への無料配布によるPR</p> <p>④ ホテル、温泉旅館等へのPR</p> <p>3. 新たな商品づくり</p> <p>① 新商品(アレンジ用はばたん)の開発</p> <p>② 10～翌2月における生産安定技術の開発</p>	<p>全国花き産地、10団体以上(構成メンバーに記述の4生産団体を含む)を一同に集め、近畿地方を中心とした卸売市場、小売り専門店、大型小売店との商品展示・説明会を開催する。また、商品を一般市民を対象に展示し、生産者との対話による相互理解を図る。さらに、市民を対象にした商品のオークション販売を通じて、展示商品の説明、プロモーションを行う。</p>
スケジュール	<p>7月8日 「花一番、にいがた花三昧。連絡会議」の開催</p> <p>7月16日 第2回連絡会議 統一ロゴの公募等</p> <p>8月中旬 第3回連絡会議 広報PR計画等</p> <p>9月中旬 第4回連絡会議 協賛イベント等</p> <p>10月上旬 第5回連絡会議 連携内容等</p> <p>11月上旬 第6回連絡会議 連携内容の詳細計画、プレスリリース等</p> <p>12月上旬 第7回連絡会議 連携内容の詳細計画、バイヤーの招へい等</p> <p>1月上旬 第8回連絡会議 連携内容の詳細、協賛イベント等</p> <p>2月上旬 第9回連絡会議 連携内容の詳細計画等</p> <p>2月下旬 第10回連絡会議 開催当日の段取り等</p> <p>3月11日～13日 連携イベントの開催</p> <p>3月下旬 第11回連絡会議 反省検討会</p>	<p>8月 広報資材の作成に関する打ち合わせ</p> <p>9～10月 バレンタイン、ブライダル業界に対する販売促進活動</p> <p>11月 現地検討会及び市場関係者との意見交換会</p> <p>12月 市場における求評会、トップセールスの実施、消費者アンケートの実施</p> <p>1月 バレンタイン需要マーケティング調査</p> <p>2月 活動の評価、次年度の計画策定</p>	<p>平成22年8-9月;参加生産団体の募集</p> <p>10月;出展準備のための現地での確認</p> <p>11月19日(金);生産団体と流通関係者による商品展示・説明会、生産団体間の意見交換会</p> <p>11月20日(土)～21日(日);市民への商品展示、および生産団体と市民との意見交換。</p> <p>11月20日(土)および21日(日);産地紹介を兼ねたミニオークション</p> <p>平成23年1月 ;反省会</p>
実施体制		<p>① 石川県花き園芸協会のはばたん生産者でプロジェクトを設置</p> <p>② 事務局は花き園芸協会と同様、石川県生産流通課で行う。</p> <p>③ 必要に応じて小売商や専門家を招聘する。</p>	<p>かんさいフラワーショー実行委員会事務局、および関西生花本暦協同糾合による準備・運営。事務局は(社)フラワーソサイエティーがあたる。</p>

都道府県		新潟県	石川県	大阪府
実施主体等		新潟県花と緑の普及推進協議会 (事務局:新潟県農林水産部食品・流通課)	石川県花き園芸協会 はばたんプロジェクト (石川県農林水産部生産流通課)	かんさいフラワーショー実行委員会 (事務局:社団法人フラワーソサイエティー)
類似の活動実績		連携を図ろうとしている4つの花イベントについては、過去3年間個別に事業を行ってきたが、これまで連携会議等は行ってきておらず、本年が始めての取組みとなる。	① 市場関係者との意見交換会の開催 ② 切り花品評会の開催 ③ 生産者における市場での販売促進活動 ④ 県内小売り店へのPRとしてアレンジ講習会に花材を提供	① これまで5年間、かんさいフラワーショーでは近畿地方の産地紹介を兼ねたミニオークションを市民向けに行った。 ② 大阪フラワーガーデンショー2010(平成22年4月9～11日)の一環として、全国の花と緑の生産者が呼びかけ合って、「花と緑の生産者紹介in関西2010春」と題した展示会を開催した。大阪及び関西市場を始め、全国の生産者約30名及び流通関係者約300名が参加した。 なお、この実行委員会の構成メンバーと事務局は、かんさいフラワーショー実行委員会とほぼ同じである。
経費内訳(千円)	事業費総額	5,259	756	3,879
	助成要望	842	756	650
	採択助成額	750	600	600
	その他	4,417	-	3,279
助成対象の主な経費		宣伝・広告費、会場展示費、外部専門家の招へい経費等	POP等広報資材作成費、関西市場での求評会経費等	会場展示費、POP等広報資材作成費等

平成22年7月28日

都道府県		鹿児島県
実施主体等		フラワーフェスタインかごしま実行委員会 (事務局:鹿児島農政部農産園芸課)
目的のポイント		「フラワーフェスタインかごしま」の企画・開催及び県外における花きイベントへの出展等を通じ、生活の中に花や緑を身近なものとして定着させるよう、花の消費拡大を積極的に推進するとともに、本県花き生産の振興に資する。
タイプ区分		都道府県単位のネットワーク構築タイプ
構成メンバー	生産	<フラワーフェスタインかごしま実行委員会の構成団体> (株)鹿児島園芸花市場、 鹿児島県花卉園芸農業協同組合、 鹿児島県経済農業協同組合連合会、 鹿児島県フラワー協会(鹿児島県生花商組合、鹿児島県花商組合、(社)日本生花通信配達協会鹿児島支部、(社)日本フラワーデザイナー協会鹿児島支部、鹿児島県フラワー装飾技能士会)、 鹿児島園芸商組合、 フラワーパークかごしま、 鹿児島県園芸振興協議会、 鹿児島県花き振興会、 鹿児島県農政部農産園芸課
	市場流通	
	販売・デザイン	
	その他	
実施概要		
連携のテーマ・課題		生産・流通・販売及び行政機関等、県内の花き関係者が一体となって、消費者ニーズの把握や消費拡大を積極的に推進し、本県花きの振興に資する。

都道府県	鹿児島県
実施主体等	フラワーフェスタインかごしま実行委員会 (事務局:鹿児島農政部農産園芸課)
連携による活動計画	① フラワーフェスタインかごしま2011の企画, 開催 ② 県内外の花き関連イベント等への出展(予定) ・九州フラワートレードフェア ・第28回全国都市緑化かごしまフェアプレイイベント
スケジュール	6月1日 実行委員会ワーキンググループ会議を開催し, 21年度実績と22年度計画及びスケジュールについて検討。(実施済) 7月23日 実行委員会を開催し, 21年度事業実績及び収支決算, 22年度事業計画及び収支予算等を協議。(実施済) 平成22年8月 実行委員会ワーキンググループ会議 平成22年10月 実行委員会幹事会・ワーキンググループ会議 10月16日 第28回全国都市緑化かごしまフェア「花かごしま2011」半年前祭において県民に地元産花きのPRを行う。 11月10日 「九州フラワートレードフェア」において, 九州各県と連携し, 広く花食のPRを行う。 1月 実行委員会幹事会・ワーキンググループ会議 2月4~6日 「フラワーフェスタインかごしま2011」開催
実施体制	県内花合関係機関による実行委員会方式(事務局:鹿児島農政部農産園芸課花き果樹係)

都道府県	鹿児島県	
実施主体等	フラワーフェスティンかごしま実行委員会 (事務局:鹿児島農政部農産園芸課)	
類似の活動実績	フラワーフェスティンかごしま2008 (H20.2.1~3) フラワーフェスティンかごしま2009 (H21. 2. 6~8) フラワーフェスティンかごしま2010 (H22. 2. 5~7)	
経費内訳 (千円)	事業費総額	5,340
	助成要望	600
	採択助成額	300
	その他	4,740
助成対象の主な経費	一般消費者等への普及活動費等	

フラワーフェスティンかごしま実行委員会については、従来のフラワーフェスティンかごしま2011とは別に、鹿児島産花きのPRのため、新たに取り組む県内外の花き関連イベント等への出展を助成対象とする。

10月16日・第28回全国都市緑化かごしまフェアイベント(半年前祭)
11月16日 九州フラワートレードフェア

18,467

4,440

3,600

14,077

7地区分(山形県、ちば花と緑、静岡、新潟、石川、かんさいフラワーショー、鹿児島)